

手引き②

☆「音読の達人」になろう！

音読上達の秘訣五箇条

じょうたつ ひけつ かじょう



音読は、大きな声を出したり、繰り返し読んだりするだけでは上手になれません。そこで、「音読上達の秘訣五箇条」を意識して、音読に挑戦してみましょう。

秘訣1

音読の速さは、一分間に三百字が基準。

アナウンサーが、放送の時に話す速さが、一分間に三百字で、一番聞き取りやすい速さです。まずは、この速さをつかんでみましょう。

秘訣2

声に出して読む楽しさを感じる。

音読することは、目から文字が入ってきたり、耳からも、さらには身体の内部からも声が響いたりします。この響きを楽しみながら、音読をしましょう。

秘訣3

モデルを聞いてから、音読する。

よい音読法を身に付けるためにも、聞き方を訓練するためにも、音読CDなどで、モデルを聞いてから音読しましょう

秘訣4

文章や資料の様式に応じて音読する。

文学的な文章か説明的な文章かで、読み方が違います。また、能、狂言、歌舞伎、古典落語などは、間や抑揚など独特のリズムや言い回しが大事になってきます。モデルを聞いてから、文章や資料の様式に応じて読み方を工夫していきましょう。

秘訣5

毎日音読する。

音読を毎日継続すると、一か月後には、記憶力が三割以上上がるというデータがあります。音読で、脳が鍛えられるのだと考えられます。

これらの「音読上達の秘訣五箇条」を意識して、早速音読に挑戦してみましょう。